

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム えべつ

作成日：平成 30年 3月 26日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	I-1	理念は、常時目につくところに掲示されており、運営推進会議、事業所会議での読み合わせも行っているが、理念を常に意識したサービス提供が100%行えているとは言い切れない。長すぎて、覚えられないとの声もある。 「理念は、全職員の意識統一に繋がるも」との認識を深めていくことが必要。	理念に基づく介護の実践。 理念の理解。 理念に基づく、目標の設定。 職員一人一人が心身ともに健康な状態で、ゆとりある支援に努める。	理念唱和の継続と、内容をどのように理解しているか発表の機会を設ける。 理念に沿った支援が出来ているか事業所会議で話し合いの時間を設ける。 理念に基づく目標を皆で話し合い作っていく。	1年
2	II-35	マニュアルの整備に関して、㈱健康会として取り組んでいる。大まかな内容はあるものの、職員全員に周知は出来ていない。 災害発生時の指揮系統、対応について、全職員が同じ認識であることが必要。	災害対策、マニュアルの周知。 災害備品の整備。	マニュアルの理解、指示系統の周知の為、会議内で話し合う。 災害時備品の内容・置き場所を検討し、全職員に周知する。 災害時訓練(災害備品の使い方・入居者様の対応・連絡、報告)の実施し、検証、改善を繰り返していく。	1年
3	III-26 III-27	日常的な流れでの安心安全の提供は意識しているが、入居者様それぞれのケアプランを全て覚えてはいないのが現状。 ケアプランに沿った記録に㈱健康会で統一されたばかりで不慣れなため、普段の様子の記録量が減ってきている。	入居者様一人一人の状況に合わせたプランがあることを理解し、ケアプランに沿った支援を実施する。 職員一人一人が心身ともに健康な状態で、ゆとりある支援に努める。	ケアプランを理解できるよう伝える。(計画作成担当から全職員へ) ケアプランに沿った伝わる記録。 ケアプランに沿った支援が出来ているかカンファごとに検証するとともに、現状に適しているか確認し、修正していく。	1年
4	I-6	良かれと思っての声かけが、スピーチロックに繋がっていることに気付けない。 職員間で、指摘できない。	虐待・身体拘束、の理解。 スピーチロック、グレーなケアの理解。 虐待・身体拘束、の無い、入居者様に寄り添った支援。職員一人一人が心身ともに健康な状態で、ゆとりある支援に努める。	マニュアルの理解と、研修・虐待身体拘束適正化委員会の実施。 スピーチロック、グレーなケアのシミュレーション。 職員間互いの、気遣いでストレス軽減できる環境を整える。	1年
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。